

第6回 分倍河原駅周辺まちづくり協議会 全体会 議事録

1 日 時：平成30年8月9日（木）午後7時～8時55分

2 場 所：片町文化センター3階第1会議室

3 出席者：都市整備部地区整備課 職員4名

分倍河原共栄会 5名

片町二丁目自治会 3名

美好町3丁目自治会 2名

分梅第一自治会 1名

分梅高倉自治会 1名

㈱ジオ・アカマツ 1名

NREG東芝不動産㈱ 1名

㈱首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 3名

4 資 料：次第

資料1 まちづくり提案書（案）に関する説明会の開催結果

資料2 分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（案）に関する
説明会の主な意見と回答

分倍河原駅改良提案書について 意見書

5 内 容

(1) まちづくり提案書（案）に関する説明会の開催結果について

（○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等、◎：決定事項）

・資料1、資料2についてコンサルタントより説明があった。

○説明会当日は、当方と〇〇氏が代表して回答したので、資料2も誰が回答したか分かる
と良い。また、「思惑」や「やっていきたい」という表現も我々の意見であるため、協
議会としての意見であると分かった方が良い。（美好町3丁目自治会）

⇒資料2については、提案書の資料編に載せたいと思っている。今回の資料は、当日の議
事録から転記しているような形になっているので、協議会としての回答に書き直す。（コ
ンサルタント）

○回答の中に、ミナノが商店街でサテライトをやるといったことを書かれているが、実現
の可能性が低いため外してほしい。駅の北側にスーパーが欲しいといった意見は、商業
の賑わいに関する意見として受け止めることは良いと思う。（ジオ・アカマツ）

⇒説明会での意見を受けて、提案書をどのように書き直す必要があるが議論していきたい。
説明会では旧甲州街道についての歩道の段差の話が出たが、どう考えるか。分梅通りと
同じように考えるのであれば、このままで良いと思うが、どうか。（コンサルタント）

○旧甲州街道は、これ以上の拡幅は難しいと思う。現在の車の交通量を考えたら、現在の
歩道のまま、段差があった方が良くはないかと思う。旧甲州街道の拡幅の予定はあ

るのか。(片町二丁目自治会)

- ⇒旧甲州街道は都道であるため都の管轄であるが、拡幅といった話は聞いていない。(市)
- さがりルートは車の交通量が少なく、スピードもあまり出さないため、歩道のバリアフリー化は良かったが、旧甲州街道は車のスピードが速い。歩道が狭い原因として、電柱もあるので、電柱の地中化をした方が現実的ではないか。(分梅第一自治会)
- 旧甲州街道は以前、歩道と車道の段差はなかったが、危険だということで歩道の段差が高くなった。段差が高くなり、自転車が車道から歩道に逃げられず、子どもを乗せた自転車が危険になっている。バリアフリー化するのであれば、大國魂神社西側の道路のように、車道と歩道の間にポールを立てたら良いのではないか。(片町二丁目自治会)
- 自転車は車道を走行するということになっているが、現状の旧甲州街道で車道を走行するのは危険である。歩道は歩行者優先というのであれば、何か対策を考えなければならない。(分梅第一自治会)
- 甲州街道に自転車のナビマークがあるが、実際そこを自転車で走行するのは危険である。(片町二丁目自治会)
- 高齢者が乗る自転車は歩道を走行しないと危険である。電柱をなくすことが手っ取り早い対策であると思う。(片町二丁目自治会)
- ⇒折衷案であるが「電柱の地下化や歩道や車道の段差をなくす等」という文言に修正する。(コンサルタント)
- 説明会に若い方が来ていたが、ピースプラザの方であった。車が危ないと思っているようで、関心があり説明会に来てくれたようである。そのような意見をどう提案書に盛り込むのかの検討を、時間をかけてやりたい。
- また、ミナノのサテライトについては外してほしいという意見は、尊重したいと思う。商業調整会議は、やるということについて責任は持てないので、商業調整会議も含めて考えていきたいという書き方にしてほしい。(美好町3丁目自治会)
- ⇒提案書の中には商業調整会議という書き方はしていないが、29ページに「商店街と大規模店舗、企業、住民が協力していくとともに、継続的に活動できる組織について検討します。」という書き方に留めている。(コンサルタント)
- あまり丸めすぎても面白くないと思う。(美好町3丁目自治会)
- 説明会の際、なぜ分倍河原駅の市内の他の駅に比べ遅れているのかという質問が出たが、協議会で答えることができなかった。大事な問題だと思うので、協議会としてきちんと回答するか、それが難しいのであれば市で回答すべきではないか。
- また、自転車について意見を述べられていた方は、説明会の後、〇〇氏と話していたようだが何を話していたのか。(分倍河原共栄会)
- 佐々木歯科医院の近くに住んでいる方で、京王線の西側の駅前を広げるのであれば土地を提供しても良いと言っていた。(片町二丁目自治会)
- 説明会で意見を言い足りなかった人の意見を聞きたい。街路樹についても、切りたくないという意見が出ていたが、我々は切ると言っている。協議会の意見と対立する意見をどう扱うか考える必要がある。
- また、「商業調整」という言葉は、ミナノのために商売の調整をすると取られてしま

うので、「にぎわいのため話し合い」として、消費者の利益にかなった商店街づくりをどうしていくのかを検討していくという形が良いと思う。

東西動線については、協議会であまり議論していないように思う。どのような自由通路なのか、立ち退きが必要なのであれば、該当する人に説明する必要があるのではないか。（分倍河原共栄会）

○東西動線については、協議会が発足する前の準備会の際に、市から、分倍河原駅は空間がないので、東側に広場を設けなければならないという話があった。広場をつくる際に立ち退きが必要な場合は、近くに代替地を確保してあげた方が良いと思う。土地がない中で、気持ちよく土地を譲ってもらえるような仕組みが必要である。（片町二丁目自治会）

○東西を自由に渡れるようにするとすると、道路の形状を変える必要があると思うし、渡る場所の足元には広場が必要になると思うので、どの程度実現可能なのか分からない。（分倍河原共栄会）

⇒東西動線の位置は、都市・地域交通戦略と合わせて矢印を書いているが、東西動線の場所は決まっているわけではない。10ページには、東西の自由通路が必要だということと、C地区からの出入口の必要性を書いているが、広場については書いていないが、議論の中で、人だまりのような空間が必要だという話にはなった。（コンサルタント）

○自由通路は、車が通れるものなのか。（分倍河原共栄会）

⇒自由通路とは、24時間通行できる歩行者専用又は歩行者と自転車が通行できる通路のことである。また、鉄道の運行しない夜間に閉まる通路は、連絡通路と呼ぶ。広場も自動車が入る広場ではなく、人が中心の広場である。（コンサルタント）

○広場の広さは、どの程度必要なのか。（分倍河原共栄会）

⇒広さは検討が必要である。（コンサルタント）

○広場を確保するために立ち退きが必要なのであれば、それを説明する必要がある。共栄会も、広場確保のためにどのような協力できるかを検討する必要があるのではないか。広場ができる場所に権利を持っている方に知らせないで、広場をつくることを決めるのは良くないと思う。（分倍河原共栄会）

○そのような話をする前に、東西動線が京王線の上部と通るとすると、その整備がそもそも可能なのかどうかの確認を得てからでないと、商店街にも伝えられないと思う。（分倍河原共栄会）

○我々がこの程度広さの広場がほしいと言っても、実際に権利を持っている方が協力しないと言うと話が前に進まなくなってしまうので、どの程度の方が協力してくれるのが重要になる。協力をしてもらうためには、代替地の確保を行うことが重要であると思う。（片町二丁目自治会）

○説明会で45ページの絵を描いた人と〇〇氏が討論していて、駅舎についてどのような考えを持っていたかが分かった。〇〇氏も駅舎について提案していた。（分倍河原共栄会）

○鉄道の軌道を上にあげる、下げるという話になると100年近くはかかると思う。京王線と南武線が交差している状況が、市内でも分倍河原駅だけ遅れている原因ではないか

と思っている。(片町二丁目自治会)

○東西動線もどのような作りにすることが考えられるか、専門家の意見を聞いた上で議論が必要だと思う。(分倍河原共栄会)

○東西動線を整備するとなると、様々な問題があると思うが、現在の駅舎をうまく利用すれば、買収範囲を小さくできると思う。(片町二丁目自治会)

○住民としての強い意見があるということで、具体的な検討は市にお願いしたらどうか。提案書を提出し、市に早く動いてもらうのが良いのではないかと。(美好町3丁目自治会)

○市にお願いするだけであれば良いが、問題は、なぜ分倍河原駅が市内の他の駅より遅れているかということだと思う。駅舎だけでなく駅周辺のまちも変えていくとなると、関係者は出てくる。市にはリーダーシップをとってほしいが、関係者については事前に知らせる必要がある。動線が必要だということで線を引くと、線を引かれたところの関係者は反発すると思う。(分倍河原共栄会)

○協議会では方向性をまとめて、それを市に答申していくという会議であるため、あくまで図に示している線はアプローチや動線を示しているだけで、その場所に橋を架けるといったことではない。一日でも早く分倍河原周辺が良いまちになるためにも、早く考え方をまとめて市に提出し、早く整備を進めてほしい。(片町二丁目自治会)

○住居であれば、駅から多少離れても問題ないかもしれないが、商売をやっている方は、駅から離れると商売は難しい。提案書は我々の希望を書いている。東西動線も技術的なことや鉄道事業者との協議があるので、もう少し検討を進めないとならぬと思う。(分倍河原共栄会)

⇒市として、交通戦略の中で広場や自由通路の整備を位置づけており、その検討をするために、現況の測量をしている。これまでの協議会でも、事業を進めるにあたって、住んでいる方や商店の方にご協力いただければならないという意見も出ていたが、29ページに今後のまちづくりの推進に向けての①に意見として書いていただいているので、市としては計画していくにあたって、皆さまに理解していただけるよう進めていきたいと考えている。(市)

○地区整備課の関与するのは計画までか、整備までか。次の段階に入るときに、人や部署が変わっている可能性がある。しっかり引き継ぎができるのか。(分倍河原共栄会)

⇒市も組織であるので、組織として継続していく。(市)

(2) まちづくり提案書(案)について

(○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等)

・分倍河原駅改良提案書の意見書について○○氏より説明があった。

○これまで、なぜ駅舎の改良ができなかったのか、これまでの経緯を踏まえて今回は何を提案するのかということが分かった方が良いので、平成8年のことは載せた方が良いと思う。(分梅第一自治会)

⇒意見について、提案書にどのように反映するか決めていきたい。C地区の駅前広場の確保について加えるという意見については、9ページに、東西動線の足元に人が溜まる空

間の確保を検討してもらいたいという文章を入れたいと思う。文章については、次回までに作ってくるので、議論していただきたい。

用水については、現在の提案書では25ページの①に大まかに書いているが、〇〇氏の提案ではサミットの前を開渠にしてほしいということであるが、具体的に書くかどうかについて、皆さんと議論したい。(コンサルタント)

○用水は現在でも水が流れているのか。(分倍河原共栄会)

○流れている。現在はボックスカルバートの中に用水が流れている。昭和46年頃に暗渠にされた。(片町二丁目自治会)

○暗渠になっているということは、当時暗渠にした理由があると思う。開渠にして水が流れば良いとは思いますが、暗渠にして道路を広くし、交通の流れを良くするという考えもあったのではないかと思います。(分梅第一自治会)

⇒ボックスカルバートは約3m60cmの幅があり、遊歩道の地下を丸々使っている。また、ラーメン構造となっているので、開渠にすることは難しい。現実的に行うとなると相当な費用がかかる。都市計画上の都市下水として位置づけられており、雨水専用のボックスカルバートとなっているので、これ以上幅を縮めることはできない。(市)

○日電の東側は緑道となって水が流れているので、そこで緑を感じてもらえば良いと思う。(分梅第一自治会)

○日電の東側はあまり人が通らないが、分倍河原のような人が通る場所に用水が走っているので、そのような場所に水辺の空間が必要なのではないかと思います。用水は様々な場所で犠牲になっている。(片町二丁目自治会)

○提案書の内容については、今のままで良いと思う。(分梅第一自治会)

○25ページの「水循環(用水など)」を「水循環(用水の開渠など)」と変えるかどうかだと思ふ。開渠については、まちづくりの考え方としてあまり議論していないが、意見として強い思いがあるということは分かったので、「開渠など」と変えても良いと思う。(美好町3丁目自治会)

○希望があるという書き方もある。用水については、市全体で考えた方が良い。開渠にすることに反対意見もあると思う。(分倍河原共栄会)

⇒提案書の文言は現在のままとする。

市道4-139号の一方通行化について、市民の方から意見が出たため提案書に入れたが、昔は一方通行で、住民の要望により相互通行になったということである。(コンサルタント)

○昔より車が多くなり、また市民から同じような意見が出たのだと思う。1人から意見が出たからといって採用する必要はないと思う。(分倍河原共栄会)

⇒「また、市道4-139号線の一方通行化についても検討が必要です。」という文言は削って、元に戻す形とする。(コンサルタント)

平成8年に関しては、今回の提案書は一から作ったのではなく、これまでの実績があり、実現に至らなかったことについて、新たに提案していることが分かるようにしてほしいという意見を、協議会の最初にいただいていた。提案書としては8ページから今回の提案が始まっているので、それが分かるように工夫する必要があるかもしれない。ま

たは、抜本的に作り直すことも考えられる。(コンサルタント)

○2、3ページにまちづくりの経緯が書かれているが、資料扱いとしても良いのではないか。平成8年というのは、8、14、18、22ページの四か所に出てきている。関心のある方は資料を見ていただくというのはどうか。(美好町3丁目自治会)

○前回の提案の中でできなかったことがわからなくなってしまうのではないか。今回の提案でも、同じような結果になってしまうのではないかという心配がある。(分梅第一自治会)

⇒構成は作り変えてくるので、次回検討してほしい。(コンサルタント)

(3) その他

⇒提案書は9月に最終案、10月上旬にまとめを行うスケジュールとしたい。会場の都合上、次回の協議会の日程の候補日を、9月12日(水)、9月13日(木)のいずれかとしたい。また、10月の協議会は10月1日(月)、10月3日(水)、10月4日(木)のいずれかとしたい。(市)

○皆さまの都合が合わないので、文化センターでない場所での開催も考えていただきたい。(分梅第一自治会)

⇒ひとまず、次回全体会の日程は9月13日(木)とさせていただき、10月の協議会の日程については、改めて調整したい。(市)

以上